

取扱説明書

つながりかたガイド

Aterm W1200EX/W1200EX-MS

AM1-002918-001
2016年3月

PA-W1200EX/PA-W1200EX-MS

技術基準適合認証品

本書は、読んだあと大切に保管してください。

ユーザーマニュアルはサポートデスクに掲載している「ユーザーズマニュアル」を参照してください。（※下記「本書の取扱説明書について」）

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

必ず「メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について」をご確認いただきながら、本商品をご利用ください。

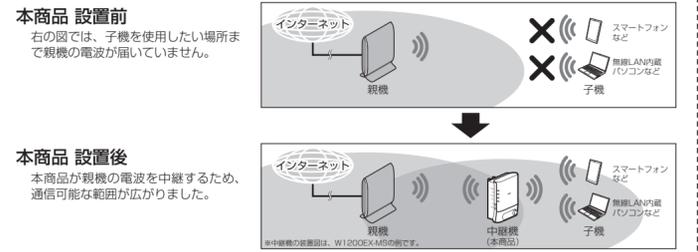
（※裏面「メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について」）

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能が有効の場合、本機能が動作するために必要な情報を NECプラットフォームズ株式会社が発行するサーバーへ通知します。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を停止することができます。

このたびは Aterm W1200EX/W1200EX-MS をご利用いただき、まことにありがとうございます。Aterm W1200EX/W1200EX-MS（以下、本商品と呼びます。）は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b の無線 LAN 規格に準拠した Wi-Fi 中継機です。親機と子機の間に設置して、電波を中継（リレー）します。また、W1200EX-MS の場合は人感センサおよび照明ランプを搭載しています。

本商品の使いかた

本商品は、あらかじめインターネット接続設定を済ませたネットワーク環境で使用します。右記の **STEP1** ~ **STEP2** で本商品の中継機として設置すると、親機の電波が届かない場所にある子機も、親機と通信することができます。



なお、本商品には、親機と中継機間、中継機と子機間それぞれで使用する無線周波数帯域の組み合わせによって、さまざまな中継機能があります。ご利用環境によって選択してご利用ください。設定方法や詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

注意事項

- 本商品は、屋内専用品です。屋外では使用しないでください。
- 本商品または本商品の一部機能が動作しなかったことにより生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。ご了承ください。

箱の中身をチェックしよう

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

□ W1200EX 1台 (W1200EX の場合)

□ W1200EX-MS 1台 (W1200EX-MS の場合)

＜添付品＞

- つなぎかたガイド（本書）
- 保証書（本書に含む）

または

本商品の取扱説明書について

本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。（2016年3月現在）

- つながりかたガイド（本書）
 - 本商品をご利用いただくための接続・設置手順、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングを記載しています。
- ユーザーズマニュアル（Web サイトに掲載）
 - 本商品のさまざまな機能を利用してできることを、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。また、本商品の基本事項についても記載しています。
 - 右記 QR コードまたは下記から参照してください。
 - サポートデスク（http://www.aterm.jp/support/） - 「機種名で探す」 - 「W1200EX」または「W1200EX-MS」 - 「マニュアル」 - 「ユーザーズマニュアル」

各部の名称

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

（側面）

- POWER ランプ（電源）
- LINK ランプ（通信状態表示）
親機とのリンクが確立すると点灯します。
- 2.4GHz ランプ（2.4GHz 帯 Wi-Fi 通信状態表示）
- 5GHz ランプ（5GHz 帯 Wi-Fi 通信状態表示）
- WPS ボタン（SET ボタン）
WPS で親機と Wi-Fi 接続するとき 사용합니다。
- RESET スイッチ
初期化するとき 사용합니다。

（底面）

- LAN ランプ（LAN ポート状態表示）
- LAN ポート（LAN インタフェース）（*）
パソコンなどと接続します。

（前面）

NEC

人感センサ（W1200EX-MS のみ）
人が通ったときなど検知範囲内で動きがあったことを検知します。

照明ランプ（W1200EX-MS のみ）
人感センサで動きを検知すると、一定時間点灯します。

（*）本商品を快適にご利用いただくには、100BASE-TX、100Mbps の方式での接続を推奨します。

STEP 1 本商品から親機にWi-Fi接続しよう

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

あらかじめインターネット接続設定を済ませたネットワーク環境でご利用ください。

1. 本商品の電源を入れる

① 本商品の電源プラグを、親機の近くにある壁のコンセントに差し込み、約 60 秒待つ

本商品をコンセントに差し込むと、電源が入ります。

- ※ いったん POWER、LINK、2.4GHz、5GHz ランプが緑点灯します。
- ※ コンセントに向かって左に本商品のランプがくるように差し込んでください。
- ※ 本商品を逆さに差し込んで使用しないでください。コンセントから外れて落下するなど故障の原因となることがあります。

② 本商品の POWER ランプが緑点灯していることを確認する

※設置図は、W1200EX-MS の例です。

2. 親機に Wi-Fi 接続する

本商品から親機に Wi-Fi 接続します。接続は WPS 機能を使用して行います。

※親機が WPS 機能に対応しているかどうかは、親機の取扱説明書を参照してください。

※WPS 機能を使用せずに Wi-Fi 接続する場合は、親機の Wi-Fi 設定内容 [ネットワーク名 (SSID)、暗号化モード、暗号化キー] を確認したうえで、本商品の LAN ポートにパソコンを有線接続し、クイック設定 Web（設定画面）で Wi-Fi 接続してください。詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

① 本商品の WPS ボタン（SET ボタン）を長押しして（約 9 秒）、POWER ランプが緑点滅になったら放す

② 親機の WPS プッシュボタンを押して、WPS 機能を起動する

※親機の操作方法については、親機の取扱説明書を参照してください。（WPS プッシュボタンの名称、位置、形状、ランプの点灯のしかたは、親機によって異なります。）

※Aterm シリーズの親機の場合は、らくらくスタートボタンを長押しし、親機の POWER ランプが緑点滅になったら放します。しばらくすると親機の POWER ランプが緑点灯します。

③ 本商品の POWER ランプが緑点灯になることを確認する

しばらくすると本商品の POWER ランプは緑点灯に戻ります。

④ しばらくして本商品の LINK ランプが緑点灯または緑点滅することを確認する

※LINK ランプが緑点灯の場合は 2.4GHz 帯で、緑点灯の場合は 5GHz 帯で、親機とリンクが確立しています。

以上で、Wi-Fi 接続は完了です。

STEP 2 本商品を設置して電源を入れよう

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

① 設置場所を決める

親機と子機の間を中継する位置に、本商品を設置します。

- ※設置場所は、あらかじめスマートフォン/タブレット端末などの子機から、親機と Wi-Fi 接続が十分であることを確認しておいてください。

② 本商品を壁のコンセントから抜く

※STEP1 で電源を入れた場所にそのまま設置する場合は、コンセントは抜かず、手順④へお進みください。

③ 手順①で決めた設置場所に移動して、本商品の電源プラグを壁のコンセントに差し込み、約 60 秒待つ

いったん POWER、LINK、2.4GHz、5GHz ランプが緑点灯します。

- ※壁のコンセントに差し込む向きについては、STEP1 の①の①にある※を参照してください。

④ 本商品の POWER ランプが緑点灯、LINK ランプが緑点灯または緑点滅していることを確認する

※2.4GHz ランプまたは 5GHz ランプの色で、親機との電波状態を確認することができます。

- 緑：電波強度「強」 → 電波状態がよくありません。
- 橙：電波強度「中」 → 手順④に戻って、親機に近い場所に本商品を設置し直してください。
- 赤：電波強度「弱」

※設置図は、W1200EX-MS の例です。

以上で、本商品の設置は完了です。

ご利用にあたって

本商品は親機と WPS で Wi-Fi 接続されると、親機の Wi-Fi 設定内容 [ネットワーク名 (SSID)、暗号化キー] を自動で引き継ぎます。そのため、子機から親機に Wi-Fi 接続する際は、親機または本商品どちらかに Wi-Fi 接続されます。なお、本商品の近くで子機から親機に Wi-Fi 接続すると、本商品につながりやすくなります。

※ご利用前に、本商品の近くで子機の電源をいったん切って入れ直すことをお勧めします。

※親機、本商品のどちらに Wi-Fi 接続されるかは、子機に依存します。

ただし、WPS で Wi-Fi 接続した親機が、Wi-Fi デュアルバンド中継機能に対応していない機種（*）の場合は、本商品に追加設定が必要です。詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

（*）Wi-Fi デュアルバンド中継機能の対応機種については、サポートデスク（http://www.aterm.jp/support/） - 「目的別で探す」 - 「動作検証情報」にて「Aterm シリーズ Wi-Fi 中継機能 対応機種情報」を参照してください。

さらに詳細な機能をご使用になりたい場合は、サポートデスクに掲載している「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

本商品でできること

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

本商品には、親機と子機間の電波を中継する中継機能の他、さまざまな機能があります。下記で、ご利用いただける機能の一部をご紹介します。設定方法や詳細は「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

見えて安心ネット

本商品に接続された端末情報を確認して管理することができます。

見えて安心ネットで確認できる情報やご利用いただける機能は、次のとおりです。

- ※ [Aterm スマートリモコン]（無料アプリ）を使えば、スマートフォン/タブレット端末から簡単にご利用いただけます。
- 接続端末の一覧表示（Wi-Fi 接続状態、許可/制限/拒否の状況など）
- 端末情報の表示/設定（端末名、端末区分、電波強度/周波数帯、MAC アドレスなど）
- こども安心ネットタイマー（Wi-Fi 接続可能な時間帯を端末ごとに設定できる機能）
- Wi-Fi 接続通知（Wi-Fi 接続した端末情報を事前に登録した宛先へ通知する機能）
- ※メンテナンスバージョンアップ機能を無効にした場合は、Wi-Fi 接続通知をご利用いただけません。

状態表示ランプ点灯設定

就寝時など本商品のランプの明かりを抑えたい場合、クイック設定 Web で手動設定することで、ランプを消灯させることができます。

※照明ランプは本機能の対象外です。（照明ランプは W1200EX-MS にのみ実装しています。）

照明機能 センサ通知（W1200EX-MS のみ）

W1200EX-MS の場合は人感センサを搭載しており、人が通ったときなどに一定時間照明ランプが点灯したり、検知した情報をメールやアプリで通知したりすることができます。事前の設定が必要です。

※メンテナンスバージョンアップ機能を無効にした場合は、センサ通知をご利用いただけません。

トラブルシューティング

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載しました。

※この他にサポートデスク（http://www.aterm.jp/support/）の「機種名で探す」 - 「W1200EX」または「W1200EX-MS」にある [Q&A] でもさまざまなトラブルと対処を掲載していますので、そちらも合わせて参照してください。

- ※解決しない場合は、本商品を初期化（※下記「初期化方法」）し、はじめから設定し直してお試しください。

■POWER ランプが消灯している

- 電源が入っていません。STEP1 を参照して、壁のコンセントに本商品が確実に接続されていることを確認してください。
- 状態表示ランプ点灯設定を「全消灯」に設定している場合は、POWER ランプが消灯します。

■LINK ランプが消灯している

親機と Wi-Fi 接続できていません。STEP1 の②を参照して、親機と Wi-Fi 接続してください。

■親機と Wi-Fi 接続できない

- 本商品と親機の距離を 1 ~ 3m に近づけて Wi-Fi 接続してください。
- 電波に影響を与える機器（コードレス電話機や電子レンジなど）から離れて接続してください。

■本商品が親機と子機間を中継できているか確認したい（本商品に子機が接続しているか確認したい）

本商品が親機と子機間を中継できているかは、本商品の見えて安心ネットの画面で、本商品に子機が接続されているかを確認します。「ユーザーズマニュアル」見えて安心ネットの画面は、クイック設定 Web または「Aterm スマートリモコン」（無料アプリ）から表示してください。

なお、本商品の近くで子機から親機に Wi-Fi 接続するか、Wi-Fi 接続後に本商品の近くで子機の電源をいったん切って入れ直すと、本商品につながりやすくなります。

■クイック設定 Web が対応している Web ブラウザは？

クイック設定 Web が対応している Web ブラウザについての最新情報は、AtermStation（http://121ware.com/aterm/）でご確認ください。

■クイック設定 Web が開かない

- ご使用のパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
- Web ブラウザの設定で JavaScript を無効に設定している場合は、有効に設定してください。
- IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してお試しください。

■本商品を再起動したら、インターネット接続できなくなった

本商品を再起動すると、Wi-Fi 接続が切断されますので、ご使用の子機から再度接続を行ってください。

初期化方法

うまく動作しない場合や工場出荷状態に戻したい場合は、下記の手順で初期化してください。（お客様にて設定した内容は消去されます。なお、初期化する前に、クイック設定 Web の「詳細な項目を表示」 - 「メンテナンス」 - 「設定値の保存 & 復元」にて現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同画面にて復元することができます。）

① 本商品の電源が入っていない場合は、電源を入れてから約 60 秒以上待つ

② RESET スイッチを細い棒状のもの（電気を通さない材質のもの、つまようじの先など。）で押し続け、POWER ランプが赤点滅をはじめたら放す

※ POWER ランプが赤点滅をはじめると 6 ~ 10 秒かかります。

③ 本商品を壁のコンセントから抜いて、約 10 秒待つってから差し込む

④ 約 60 秒待つ

※前面のランプが一斉に緑点滅したあと、POWER ランプが緑点灯したら初期化が完了します。

※設置図は、W1200EX-MS の例です。

本商品の設定を変更する場合は

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

本商品の設定内容を変更する場合は、クイック設定 Web（設定画面）で行います。クイック設定 Web の起動方法は下記のとおりです。

クイック設定 Web の起動方法

あらかじめ確認してください

クイック設定 Web を表示するためには管理者パスワードが必要です。あらかじめ本商品裏面のラベルに記載された数字 6 桁の管理者パスワード（Web PW）を確認してください。

この管理者パスワードは、お客様にて変更することをお勧めします。管理者パスワードを変更した場合は、クイック設定 Web 起動時には変更した管理者パスワードを入力してください。

管理者パスワード控え欄 [初期値]

管理者パスワード控え欄 [お客様にて変更した値]

変更した管理者パスワードを忘れた場合は、本商品を初期化すると（※左記「初期化方法」）、本商品裏面のラベルに記載された管理者パスワード（Web PW）に戻ります。

ご利用の子機によって、以下より選択してください。

スマートフォン/タブレット端末から起動する場合

親機に Wi-Fi 接続済みのスマートフォン/タブレット端末で起動します。

※本商品に対応している「Aterm スマートリモコン」（無料アプリ）は、バージョン 2.0.0 以降となります。

- 1 本商品の LINK ランプが緑点灯または橙点灯していることを確認する
- 2 「Aterm スマートリモコン」（無料アプリ）を検索して、インストールする
 - ※すでにインストールされている場合は手順③に進んでください。
- 3 スマートフォン/タブレット端末のホーム画面などから、「Aterm スマートリモコン」のアイコンをタップする
- 4 利用許諾契約書が表示された場合は、よく読んで [同意] をタップする
- 5 本商品をタップする
 - ※機種名や装置名などで本商品を確認してタップしてください。
 - ※表示されない場合は、本商品の電源をいったん切って入れ直し、LINK ランプが緑点灯または橙点灯したら、④をタップしてください。
- 6 [クイック設定 Web] をタップする
- 7 [クイック設定 Web 画面を表示します。] と表示された場合は、[OK] をタップする
 - ※エラー画面が表示された場合は、画面のメッセージにしたがってください。
- 8 [ご利用のブラウザによっては、クイック設定 Web を表示する際に、一部使用できない設定項目や正しく表示されない場合があります] と表示された場合は、[OK] をタップする
- 9 Web ブラウザが複数ある場合は、アプリケーションの選択画面が表示されることがあるので、使用する Web ブラウザをタップし、[常時] または [1 回のみ] をタップする
- 10 Web ブラウザでクイック設定 Web のログイン画面が表示された場合は、「ユーザー名」には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」には、あらかじめ確認した本商品の管理者パスワード（Web PW）を入力して、[ログイン] をタップする
 - ※本商品の管理者パスワードを変更した場合は、変更した管理者パスワードを入力します。
- 11 クイック設定 Web が表示される
 - ※クイック設定 Web で設定した内容は、[設定] をタップしたあと本商品を再起動することで登録されます。

パソコンから起動する場合

※各機種のパソコンサポートにはお入りください。

Aterm 検索ツールで起動する場合（Windows のみ）

親機に Wi-Fi 接続または有線接続済みのパソコン（対応 OS は Windows のみ）で起動します。

- 1 本商品の LINK ランプが緑点灯または橙点灯していることを確認する
- 2 Web ブラウザ（Internet Explorer など）を起動し、下記にアクセスするサポートデスク（http://www.aterm.jp/support/） - 「機種名で探す」 - 「W1200EX」または「W1200EX-MS」 - 「ソフトウェア」
- 3 「Aterm 検索ツール」（ZIP 形式圧縮ファイル）をダウンロードする
- 4 展開（解凍）したファイル「AtermSearch」をダブルクリックする
- 5 [Aterm 検索] をクリックする
- 6 ネットワーク内の Aterm 機器を検索します。
- 7 しばらくして「検索完了」と表示されるので、[OK] をクリックする
- 8 ネットワーク内の Aterm 機器が一覧表示されるので、本商品を選択して IP アドレスをクリックする
- 9 クイック設定 Web のログイン画面が表示された場合は、「ユーザー名」には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」には、あらかじめ確認した本商品の管理者パスワード（Web PW）を入力して、[ログイン] をタップする
 - ※本商品の管理者パスワードを変更した場合は、変更した管理者パスワードを入力します。
- 10 クイック設定 Web が表示される
 - ※クイック設定 Web で設定した内容は、[設定] をクリックしたあと本商品を再起動することで登録されます。

本商品の LAN ポートにパソコンを有線接続して起動します。

- 1 本商品を壁のコンセントからいったん外す
- 2 本商品の LAN ポートとパソコンの LAN ポートを ETHERNET ケーブルで接続する
- 3 本商品の WPS ボタン（SET ボタン）を押しながら、本商品を壁のコンセントに接続し、2.4GHz ランプが赤点滅したら、WPS ボタン（SET ボタン）を放す
 - ※親機との Wi-Fi 接続はいったん切断されます。
 - ※本商品の DHCP サーバ機能が起動します。DHCP サーバ機能が起動中は、2.4GHz ランプが赤点滅します。
- 4 Web ブラウザで起動し、アドレス欄に本商品の IP アドレス（192.168.1.245）を入力して Enter キーを押す
 - 入力例：http://192.168.1.245/
- 5 クイック設定 Web のログイン画面が表示された場合は、「ユーザー名」には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」には、あらかじめ確認した本商品の管理者パスワード（Web PW）を入力して、[ログイン] をタップする
 - ※本商品の管理者パスワードを変更した場合は、変更した管理者パスワードを入力します。
- 6 クイック設定 Web が表示される
 - ※クイック設定 Web で設定した内容は、[設定] をクリックしたあと本商品を再起動することで登録されます。

※設置図は、W1200EX-MS の例です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。なお、さらに詳細な内容を「[ユーザーズマニュアル](#)」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

警告：人が死亡する、または重傷^(※1)を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：人が軽傷^(※2)を負う可能性が想定される内容、および物的損害^(※3)のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

(※1) 重傷：失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中等などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさしています。

(※2) 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをさしています。

(※3) 物的損害：家屋、家財および家具、ペットなどにかかわる重大損害をさしています。

図記号の説明
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>■ 警告・注意を促す記号</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">      </div> <p>一般注意 発火注意 感電注意 高温注意 破裂注意</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>■ 行為を禁止する記号</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">       </div> <p>一般禁止 分解禁止 ぬれ手禁止 水ぬれ禁止 風扇等の使用禁止 火気禁止</p> </div> </div>
<p>■ 行為を指示する記号</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>一般指示 電源プラグをコンセントから抜く</p>

警告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。
- 本商品は、たこ足配線で使用しないでください。



- 本商品にものをのせたり布を掛けたりしないでください。
- 本商品は日本国内 AC100V (50/60Hz) の電源専用です。他の電源では使用しないでください。
- 本商品は風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。



以下の場合は、すぐに本商品をコンセントから抜いて、Aterm インフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のとき



- 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき
- 本商品を落としたり破損したとき



- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電算機システムなど)では使用しないでください。
- 本商品を分解・改造しないでください。



- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。

- 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。
- 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。



注意

設置場所

本商品を設置する際は、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。また、設置の際は、以下のことにご注意ください。

- 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90%の結露しない環境でご使用ください。
- 本商品を横置きや重ね置きしないでください。



- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに設置しないでください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に設置しないでください。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 通風孔をふさがしないでください。次のような使いかたはしないでください。
 - <悪い例>
 - 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - じゅうたんや布団の上に置く
 - テーブルクロスなどを掛ける

- 大きな衝撃や振動などが加わる場所や天井、垂直面以外の壁などには設置しないでください。
- ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、必ず本商品を手で支えながら行ってください。



電源

- 本商品はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず本商品を持って抜いてください。
- 本商品とコンセントの間のほごりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。
- お手入れの際は、安全のため必ず本商品をコンセントから抜いてください。
- 移動させる場合は、本商品をコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品をコンセントから抜いてください。



- 本商品に乘らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 雷が鳴りだしたら、周辺機器を接続したりしないでください。



その他の注意事項

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。
- 使用中は本商品が熱くなる場合がありますが、手で触れることができる温度であれば故障ではありません。ただし、長時間触れたまま使用しないでください。低温やけどになることがあります。
- 取扱説明書にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。



お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
 - 振動が多い場所
 - 気化した薬品が満ちた場所や、薬品に触れる場所
 - 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
 - 高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となることがあります。このような場合は、お互いを数 m 以上離してお使いください。
- 親機または子機との距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに設置しないでください。
- 本商品を移動するときは、接続コードを外してください。
- 動作中は、コネクタの接続部に触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- ただし、コネクタ部分は、ぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布で絶対ふき取ってください。

無線 LAN に関する注意事項

- 無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本商品は他社製品との接続が可能ですが、すべての製品の接続を保証するものではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁止されています。

人感センサに関する注意事項（W1200EX-MSのみ）

- 人感センサは、高い信頼性を求められる用途への使用には適しておりません。
- 人感センサの前に障害物を置かないでください。
- 人感センサは温度変化に反応するため、以下の場合でも検知する場合があります。
 - 本商品の人感センサ部に直射日光が当たっている場合
 - エアコンやヒータの吹き出し口など周囲の温度変化が激しい場合
 - 扇風機の風、蒸気、カーテンなどのゆれるものが検知範囲内にある場合
 - ペットが横切った場合
- 周囲の温度によって、人感センサの感度や検知範囲が変化する場合があります。
- 人感センサの特性上、以下の場合は検知できない場合があります。
 - 人感センサ部の前で、じっとしている場合
 - 人感センサ部に向かって正面から真っすぐに近づいた場合
 - 人感センサ部の前にガラスなど透明な障害物がある場合
 - 夏場など人体と室内の温度差が少ない場合
- 親機または子機との距離が近すぎると、データ通信時に人感センサが誤検知する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してください。

その他の注意事項

- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなりデータが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

メンテナンスバージョンアップ機能に関する許諾について

メンテナンスバージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに重要な更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。「重要な更新」とは、NECプラットフォームズ株式会社（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティの不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。メンテナンスバージョンアップ機能が開始されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制料金契約の場合、ソフトウェアロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。

本機能では、本商品に関する情報のうち、本機能が動作するために必要な最小限度の機器情報・ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品や本機能の改善・向上のためだけに利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱ひ手続きに則り、適切な管理を行います。

本機能は、工場出荷時に有効（「ON」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、下記手順で機能を無効（「OFF」）にしてください。ただし、本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新や、自動的バージョンアップは行いません。改善前のソフトウェアをそのまま使用し続ける場合、悪意のある第三者から不正なアクセスをされる危険が残る可能性があります。

<無効にする方法>
① クイック設定 Web を起動する（▶ 表示「クイック設定 Web の起動方法」）
② ホーム画面の「基本設定」→「基本設定」を選択する
③ 「メンテナンスバージョンアップ機能」で「OFF」を選択して「OK」をクリックする
④ 設定→「OK」をクリックする

本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL または LGPL にしたがひ、複製、頒布および改変することができます。

詳細は「[ユーザーズマニュアル](#)」を参照してください。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いません。また、弊社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断復写することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本商品の故障、誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
- せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や雷電など）により故障してしまつてご能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、取扱られている注意事項を必ずお守りください。

電波に関する注意事項

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

- 本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz）、IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域を使用しております。5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁止されています。
- 5GHz 帯域を使用するチャネルは 48ch（W52）と 52.56.60.64ch（W53）と 100.104.108.112.116.120.124.128.132.136.140ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用の 34.38.42.46ch（J52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。

IEEE802.11a/n/ac	W52（5.2GHz 帯 /36.40.44.48ch）、W56（5.6GHz 帯 /100.104.108.112.116.120.124.128.132.136.140ch）が利用できます。
J52 W52 W53 W56	

5GHz 帯で接続する子機は、以下の表示があるものを推奨します。

- W52（5.2GHz 帯 /36.40.44.48ch）
- W53（5.3GHz 帯 /52.56.60.64ch）
- W56（5.6GHz 帯 /100.104.108.112.116.120.124.128.132.136.140ch）
- W53（52/56/60/64ch）または W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - 各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器の他、他の同種無線局、工場製造ラインなどで使用される免許を要する移動体通信利用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 - 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。なお、デュアルチャネル（HT40）を使用しない）に設定変更することで改善することもあります。
 - その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11n（2.4GHz）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4	2.4 DS/OF：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
4	DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
■ ■ ■	想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■ ■ ■	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- 本商品を 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。「この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用率向上のため、チャネル設定とし、CH1.CH6.CH11 のいずれかにすることを推奨します。」ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は親機の取扱説明書を参照してください。）

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B
(2016年3月現在)

お問い合わせ

- ホームページ「サポートデスク」<http://www.aterm.jp/support/>

[日本語](#)
[英語](#)
[中国語](#)

レポート情報ダウンロードなど、Aterm について役立つ情報を掲載しています。

お問い合わせセンターは、QA 機能により、Aterm についてお問い合わせすることができます。

- 掲載されているお問い合わせ先は、変更されている場合があります。**

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの「お問い合わせ・アフターサービス」を参照してください。

お問い合わせ受付時間（お問い合わせセンター）

年明け前（1月31日）まで

午前9時～午後5時（土日祝日、午前10時～午後5時（日祝日））

年明け後（2月1日）から

午前9時～午後5時（土日祝日、午前10時～午後5時（日祝日））

※お問い合わせセンターは、お盆期間（8月13日～15日）は休業いたします。

■Aterm は、日本電気株式会社登録商標です。 ■ここでも安心ネットワークタイマーは、NECプラットフォームズ株式会社登録商標です。 ■Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 ■Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。 ■Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。 ■Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

■その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

© NEC Platforms, Ltd. 2016 NECプラットフォームズ株式会社の許可なく複製・改版、および複製物を配布することはできません。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、ETHERNET ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して親機やパソコン等との間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
 - 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容
- 等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - 不正に侵入される
 - 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピュータウイルス等を流しデータやシステムを破壊する（破壊）
- 等の行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っているので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨します。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。